

だれが できるくんが 言う。

何が どうする

お手紙が 来る。

だれは なんだ

がまくんは かなしそうだ。

何は なんだ

これは お手紙だ。

文の中で、「だれが(は)」「何が

(は)」に当たることばを 主語、

「どうする」「どんなだ」「なんだ」

に当たることばを 述語といいます。

主語

だれが(は)  
何が(は)

述語

どうする  
どんなだ  
なんだ

▼つぎの文の中から、主語と述語を見つけてみましょう。

- 兄が 里いもを 食べる。
- 空が とても 明るい。
- くじらは 海の 生きものだ。
- 小さな 子どもが 風車を もつ。
- 学校の 池は きれいだ。
- たなかさんは 今週の 当番だ。

- 当番
- 今週
- 池
- 風車
- 明るい
- 食べる
- 里いも

主語は、いつも 文のはじめにあるとは かぎりません。

- お手紙をもらって、がまくんは、とても よろこびました。

文を読むときには、主語と述語に気をつけると、じんぶつがしたことや ようすが、よく分かります。

話すときや 文を書くときには、主語と述語が、あいてにきちんとつたわるようにしましょう。

里 里里里里里里 里いも  
食 食食食食食食食 食べる

明 明明明明明明 明るい  
池 池池池池池池 池

週 週週週週週週 今週  
番 番番番番番番 当番



▼「ぼうしが。」と言うだけでは、「どうした」のかが分かりません。どのように言えばよいでしょうか。



